



たんば地域支援センターだより 2号

令和4年9月発行

＜相談問い合わせ先＞ 京都府立丹波支援学校 たんば地域支援センター
〒629-0154 京都府南丹市八木町柴山坊田 118
TEL : 0771 - 42 - 5185 FAX : 0771 - 42 - 5186

※詳しい情報は、本校ホームページから御覧ください。 <https://www.kyoto-be.ne.jp/tanba-s/cms>



夏のセミナー（第2回特別支援教育充実研修会）の

御視聴、ありがとうございました

「支援を要する子どもの理解と指導・支援」



国立舞鶴工業高等専門学校修学支援室 特命教授 後野 文雄 先生

You Tube 配信（配信期間：7月20日～8月28日）

今年度も管内の多くの先生方に夏のセミナーの動画を視聴していただくことができました。本当にありがとうございました。

また、個人の視聴だけでなく、校内研修会、新採用者研修に位置付け、特別支援教育について職場内で学びを共有していただいたことを大変うれしく思っております。

視聴された方からたくさんの感想文をいただきました。重ねてお礼を申し上げます。管内の特別支援教育の課題や今後の研修内容について、参考にさせていただきます。

たんば地域支援センター コーディネーター

長谷川 紀絵・和田 由起子

＊裏面に感想の一部を記載しました。

秋のセミナー

（第3回特別支援教育充実研修会）のお知らせ



開催日時 令和4年11月8日（火） 14時30分～16時45分

開催方法 Zoomによるリモート研修
（参加者にURLを送ります。）



内 容 「発達検査の意義と活用（仮題）」

講師 今泉 祥子 先生（宇治市等 発達相談員）

～令和4年度夏のセミナー 感想～ 一部抜粋

教育の中心に関わっておられる先生から直にお話を聞くことで、発達障害の日々変わっていく定義やどんな子が特別支援を必要としているのか、どういう視点で子を見ていけばいいのかということが、よく分かりました。

今までは会場に足を運んだ研修に行かせていただくことばかりで動画配信は初めてだったのですが、聞き逃した時は戻って見ることもできてありがたかったです。（就学前）

本校の夏の校内研修として活用させていただきました。

私は支援学級担任ではありますが、コーディネーターとしてどう動けばいいのか、日々、悩んでいます。今回、後野先生のQ&Aのお話が具体的でとてもわかりやすかったです。特に、教育的ニーズの10観点は、担任の先生方と話を進めていく時に生かしていきたいと思いました。また、学習者目線からの授業改善については、若い先生方にとってもわかりやすかったと感じました。そして、保護者対応3つのパターンでは、今ちょうど悩んでいる先生がおられたので、動画を見た後に、もう一度一緒に2学期に向けてどうしていこうか…とその先生とコーディネーター（私）で話をすることができました。（小学校）

子ども達の困り感に対して、手立てを一人で考えるのではなく、様々な先生方と連携をして、チームとして対応していくことが大切だと再確認することができた。また、自分の授業改善が第一だと痛感しました。どの子にも学びやすく過ごしやすい環境をつくることが、障害のある子たちにとっても居心地の良い場所になると思う。その環境を整えた上で、様々な視点から子ども達を見つめ、適切に児童の実態を見取っていきたい。

2学期に1番取り組みたいことは、褒めることである。褒めて褒めて子ども達の自尊感情を高めていきたい。（小学校）

生徒の指導を行う際に、つい目の前の事象だけを見て指導をしてしまいがちであるが、生徒の特性に応じた指導をしなければならないと改めて思いました。また、日頃から「ほめる」→「はげまし」→「ほめる」を心がけていきたいと思いました。公立高校入試における合理的配慮の内容例が知れてよかったです。ありがとうございました。（中学校）

特別支援教育というものの必要性を改めて理解することができました。支援を行うためには、まず生徒のことを深く理解する必要があること、また保護者との関係性も良好にすることが大切であることがわかりました。

発達障害と知的障害の違いやLDの中でも様々な特性があることを知り、生徒の観察にすごく役立てることができると思いました。生徒一人一人の些細なつまずきにしっかり気付けるようにしていきたい。

インクルーシブ教育についても深く学ぶことができました。合理的配慮の考え方の内容の中で、平等から公正にしていくことが重要になるという話がすごく印象的に残りました。生徒たちは特別扱いや臍頂（ひいき）にすごく敏感であるため、教員がしっかりと腑に落ちるよう理解させないといけないと思いました。

どの生徒においても、指導の仕方ひとつひとつで良くも悪くも変化していくので、学校全体で方針を定めて、丁寧に対応していくことが求められていると思いました。（高等学校）